

5. 資格取得

□教員免許

卒業要件単位のほか、教職課程に登録し（履修登録：1年次4月）、以下に定められた科目を修得した者は「中学校教諭一種免許状（理科）」及び「高等学校教諭一種免許状（理科）」を取得することができます（学位記と同時に免許状を授与）。学芸員養成課程と同時に履修することはできません。

以下のとおり、入学年度によって修得すべき科目が異なるので、注意してください。

【2022年度以降入学者用】

免許法施行規則に定める科目区分等	科目名	単位数	1年次	2年次	3年次	4年次	
教科及び教科の指導法に関する科目 ／大学が独自に設定する科目	物理学	物理学	4	4			
	物理学実験（「コンピュータ活用を含む。」）	物理学実験	1	1			
	化学	化学	4	4			
		生化学	2		2		
		分析化学	2		2		
		有機化学	2		2		
		海洋生物化学	2			2	
		栄養科学	1			1	
		食品衛生学	2			2	
		海洋生物利用学	2			2	
		化学実験（「コンピュータ活用を含む。」）	化学実験	1	1		
	生物学	生物学	4	4			
		分子生物学	2		2		
		微生物学	2		2		
		魚類学	2		2		
		無脊椎動物学	2		2		
		解剖生理学	2		2		
		生物海洋学	2	2			
		環境科学	2			2	
		水族生理学	2		2		
		水圏生態学	2			2	
		病原微生物学	2			2	
		水族増殖学	2			2	
		発生生物学	2		2		
		遺伝学	1		1		
		生物学実験（「コンピュータ活用を含む。」）	生物学実験	1	1		
	地学	地学	4	4			
	地学実験（「コンピュータ活用を含む。」）	地学実験	1	1			
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	理科教育法Ⅰ	2		2		
		理科教育法Ⅱ	2		2		
		理科教育法Ⅲ	2			2	
		理科教育法Ⅳ	2			2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育原理Ⅰ	2	2			
		教職概論	2	2			
		教育原理Ⅱ	2		2		
		教育心理学	2		2		
		特別支援教育概論	1		1		
		教育課程論	2	2			
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育論	2		2		
		特別活動及び総合的な学習の時間指導論	2			2	
		教育方法論	1		1		
		ICT活用の理論と方法	1		1		
		生徒指導論	2			2	
		教育相談・進路指導論	2			2	
	教育実践に関する科目	教育実習講義	1				1
		教育実習	4				4
		教職実践演習（中・高）	2				2
免許法施行規則第66条6項	日本国憲法（1科目選択）	日本国憲法A	2	2			
		日本国憲法B	2	2			
	体育（1科目を選択）	健康とスポーツ演習	2	2			
		ライフスポーツ演習A	2	2			
		ライフスポーツ演習B	2	2			
		ライフスポーツ演習C	2	2			
	外国語コミュニケーション	英語BⅠ	1	1			
		英語BⅡ	1	1			
	情報機器の操作（1科目を選択）	情報科学A	2	2			
		情報科学B	2	2			

【2021年度入学者用】

免許法施行規則に定める科目区分等	科目名	単位数	1年次	2年次	3年次	4年次	
教科及び教科の指導法に関する科目 ／大学が独自に設定する科目	物理学	物理学	4	4			
	物理学実験（「コンピュータ活用を含む。」）	物理学実験	1	1			
	化学	化学	4	4			
		生化学	2		2		
		分析化学	2		2		
		有機化学	2		2		
		海洋生物化学	2			2	
		栄養科学	1			1	
		食品衛生学	2			2	
		海洋生物利用学	2			2	
	化学実験（「コンピュータ活用を含む。」）	化学実験	1	1			
	生物学	生物学	4	4			
		分子生物学	2		2		
		微生物学	2		2		
		魚類学	2		2		
		無脊椎動物学	2		2		
		解剖生理学	2		2		
		生物海洋学	2	2			
		環境科学	2			2	
		水族生理学	2		2		
		水圏生態学	2			2	
		病原微生物学	2			2	
		水族増殖学	2			2	
		発生生物学	2		2		
		遺伝学	1		1		
	生物学実験（「コンピュータ活用を含む。」）	生物学実験	1	1			
	地学	地学	4	4			
	地学実験（「コンピュータ活用を含む。」）	地学実験	1	1			
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）	理科教育法Ⅰ	2		2		
		理科教育法Ⅱ	2		2		
理科教育法Ⅲ		2			2		
理科教育法Ⅳ		2			2		
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育原理Ⅰ	2	2			
		教職概論	2	2			
		教育原理Ⅱ	2		2		
		教育心理学	2		2		
		特別支援教育概論	1		1		
		教育課程論	2	2			
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育論	2		2		
		特別活動及び総合的な学習の時間指導論	2			2	
		教育方法論	2		2		
		生徒指導論	2			2	
	教育実践に関する科目	教育相談・進路指導論	2			2	
		教育実習講義	1			1	
		教育実習	4			4	
免許法施行規則第66条6項	日本国憲法（1科目選択）	教職実践演習（中・高）	2			2	
		日本国憲法A	2	2			
	体育（1科目を選択）	日本国憲法B	2	2			
		健康とスポーツ演習	2	2			
		ライフスポーツ演習A	2	2			
		ライフスポーツ演習B	2	2			
		ライフスポーツ演習C	2	2			
	外国語コミュニケーション	英語BⅠ	1	1			
		英語BⅡ	1	1			
	情報機器の操作（1科目を選択）	情報科学A	2	2			
情報科学B		2	2				

【2019～2020年度入学者用】

免許法施行規則に定める科目区分等	科目名	単位数	1年次	2年次	3年次	4年次	
教科及び教科の指導法に関する科目 ／大学が独自に設定する科目	物理学	物理学	4	4			
	物理学実験（「コンピュータ活用を含む。」）	物理学実験	1	1			
	化学	化学	4	4			
		生化学	2		2		
		分析化学	2		2		
		有機化学	2		2		
		海洋生物化学	2			2	
		栄養代謝化学	2			2	
		食品衛生学	2			2	
		海洋生物利用学	2			2	
		化学実験（「コンピュータ活用を含む。」）	化学実験	1	1		
	生物学	生物学	4	4			
		分子生物学	2		2		
		微生物学	2		2		
		魚類学	2		2		
		無脊椎動物学	2		2		
		解剖生理学	2		2		
		生物海洋学	2	2			
		環境科学	2		2		
		水族生理学	2		2		
		水圏生態学	2			2	
		病原微生物学	2			2	
		水族増殖学	2			2	
		発生生物学	2		2		
		遺伝学	1		1		
		生物学実験（「コンピュータ活用を含む。」）	生物学実験	1	1		
		地学	地学	4	4		
	地学実験（「コンピュータ活用を含む。」）	地学実験	1	1			
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）	理科教育法Ⅰ	2		2		
		理科教育法Ⅱ	2		2		
		理科教育法Ⅲ	2			2	
		理科教育法Ⅳ	2			2	
	教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育原理Ⅰ	2	2		
			教職概論	2	2		
			教育原理Ⅱ	2		2	
			教育心理学	2		2	
			特別支援教育概論	1		1	
			教育課程論	2	2		
		道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育論	2		2	
			特別活動及び総合的な学習の時間指導論	2			2
教育方法論			2		2		
生徒指導論			2			2	
教育実践に関する科目		教育相談・進路指導論	2			2	
		教育実習講義	1			1	
		教育実習	4			4	
免許法施行規則第66条6項	日本国憲法（1科目選択）	日本国憲法A	2	2			
		日本国憲法B	2	2			
	体育（1科目を選択）	健康とスポーツ演習	2	2			
		ライフスポーツ演習A	2	2			
		ライフスポーツ演習B	2	2			
		ライフスポーツ演習C	2	2			
	外国語コミュニケーション	英語BⅠ	1	1			
		英語BⅡ	1	1			
	情報機器の操作（1科目を選択）	情報科学A	2	2			
		情報科学B	2	2			

□学芸員任用資格

卒業要件単位のほか、学芸員養成課程に登録し（履修登録：2年次4月）、以下に定められた科目を修得した者は学芸員任用資格を取得することができます（学位記と同時に証明書を授与）。
教職課程と同時に履修することはできません。

【2021年度以後入学者】

博物館法及び博物館法施行規則に定める科目区分等		科目名	単位数	1年次	2年次	3年次	4年次
博物館法及び博物館法施行規則に定める授業科目	生涯学習概論	生涯学習概論	2			2	
	博物館概論	博物館概論	2		2		
	博物館経営論	博物館経営論	2			2	
	博物館資料論	博物館資料論	2		2		
	博物館資料保存論	博物館資料保存論	2		2		
	博物館展示論	博物館展示論	2			2	
	博物館教育論	博物館教育論	2		2		
	博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2			2	
本学が指定する授業科目	博物館実習	博物館実習Ⅰ	1		1		
		博物館実習Ⅱ	2				2
	右記10科目から8単位以上を修得。	魚類学	2		2		
		無脊椎動物学	2		2		
		免疫学	1		1		
		水族生理学	2		2		
		水圏植物学	2		2		
		浮遊生物学	2		2		
		海産哺乳動物学	1		1		
		水生動物行動学	1		1		
	魚病学	1			1		
	魚類栄養学	1			1		

【2016年度～2020年度入学者】

博物館法及び博物館法施行規則に定める科目区分等		科目名	単位数	1年次	2年次	3年次	4年次
博物館法及び博物館法施行規則に定める授業科目	生涯学習概論	生涯学習概論	2			2	
	博物館概論	博物館概論	2		2		
	博物館経営論	博物館経営論	2			2	
	博物館資料論	博物館資料論	2		2		
	博物館資料保存論	博物館資料保存論	2		2		
	博物館展示論	博物館展示論	2			2	
	博物館教育論	博物館教育論	2		2		
	博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2			2	
本学が指定する授業科目	博物館実習	博物館実習Ⅰ	1		1		
		博物館実習Ⅱ	2				2
	右記10科目から8単位以上を修得。 (魚類学、無脊椎動物学、比較免疫学、水族生理学は必修科目であるため、残り1単位以上を選択して修得する。)	魚類学	2		2		
		無脊椎動物学	2		2		
		比較免疫学	1		1		
		水族生理学	2		2		
		水圏植物学	1		1		
		浮遊生物学	1		1		
		海産哺乳動物学	1		1		
		水生動物行動学	1		1		
	魚病学	1			1		
	魚類栄養学	1			1		

□食品衛生管理者及び食品衛生監視員任用資格

食品衛生管理者及び食品衛生監視員資格要件科目【2021年度以後入学者用】

卒業要件単位の中で、以下の2つの条件を満たした者は、卒業と同時に任用資格を取得することができます（学位記と同時に証明書を授与）。課程への登録は不要です。他の資格要件科目と同時に履修することができます。

- ①A～D群の科目（22単位）を全て修得する。
- ②E群の科目（19単位）のうち、18単位以上を修得する。

科目区分		科目名	必修/選択	単位数	1年次	2年次	3年次	4年次	資格取得要件
A群	化学	分析化学	必修	2		2			①全て修得
		有機化学	必修	2		2			
B群	生物化学	生化学	必修	2		2			
		分子生物学	必修	2		2			
		海洋生物化学	必修	2			2		
		海洋生物利用学	必修	2			2		
		解剖生理学	必修	2		2			
C群	微生物学	微生物学	必修	2		2			
		食品微生物学	選択	1			1		
		病原微生物学	選択	2			2		
D群	公衆衛生	食品安全学	選択	1			1		
		食品衛生学	必修	2			2		
E群	その他	水族生理学	必修	2		2			
		海洋分子内分秘学	選択	1			1		
		魚類行動生理学	選択	1			1		
		環境科学	必修	2			2		
		水圏生態学	必修	2			2		
		遺伝学	必修	1		1			
		海洋生命工学	選択	2			2		
		食品機能成分論	選択	1			1		
		海洋生物資源化学	選択	1			1		
		魚病学	選択	1			1		
		魚類栄養学	選択	1			1		
		有毒有害生物論	選択	1			1		
		栄養科学	必修	1			1		
生物海洋学	必修	2	2						

①②を満たすことで任用資格取得

食品衛生管理者及び食品衛生監視員資格要件科目【2020年度以前入学者用】

卒業要件単位の中で、以下に定められたA群～E群の科目を全て修得した者は、卒業と同時に食品衛生管理者及び食品衛生監視員任用資格を取得することができます（学位記と同時に証明書を授与）。課程への登録は不要です。他の資格要件科目と同時に履修することができます。

科目区分		科目名	単位数	1年次	2年次	3年次	4年次
A群	化学	分析化学	2		2		
		有機化学	2		2		
B群	生物化学	生化学	2		2		
		分子生物学	2		2		
		海洋生物化学	2			2	
		海洋生物利用学	2			2	
		解剖生理学	2		2		
C群	微生物学	微生物学	2		2		
		食品微生物学	1			1	
		病原微生物学	2			2	
D群	公衆衛生	食品安全学	1			1	
		食品衛生学	2			2	
E群	その他	水族生理学	2		2		
		海洋分子内分秘学	1			1	
		魚類行動生理学	1			1	
		環境科学	2		2		
		水圏生態学	2			2	
		遺伝学	1		1		
		海洋生命工学	2			2	
		食品機能成分論	1			1	
		海洋生物資源化学	1			1	
		魚病学	1			1	
		魚類栄養学	1			1	
		有毒有害生物論	1			1	
		栄養代謝化学	2			2	

【食品衛生管理者とは】

食品衛生管理者とは、製造基準、成分規格のある食品（例：ハム、ソーセージ等の食肉製品、食用油脂、成分規格のある添加物）の製造を行う場合に、製造者が製造所に設置しなければならない管理者のこと。

【食品衛生監視員とは】

行政警察活動として、食品衛生法に規定された職務及び食品衛生に関する指導を行う技術系公務員です。主に国の検疫所と地方自治体の保健所に所属し、食品の検査や食中毒の調査、食品製造業や飲食店の衛生監視、指導及び教育を行っています。

□自然再生士補資格

卒業要件単位の中で、以下に定められた科目より6科目12単位以上を修得し、一般財団法人日本緑化センターに申請を行い、認定を受けた者には自然再生士補の資格が与えられます。

資格認定希望者は、以下の資格認定に必要な科目数・単位数を修得していることを確認し、申請書類（※）を揃えた上で、一般財団法人日本緑化センターへ申請を行ってください。大学では受け付けません。詳細は、一般財団法人日本緑化センターのホームページ（自然再生士補）を確認してください。

【2021年度以降入学者用】

分野	指定分野	科目名	単位数	1年次	2年次	3年次	4年次
実験・実習分野	①自然環境調査と分析、評価に係る実習・演習						
	②動・植物同定調査に係る実習・演習（森林動物学実習、森林昆虫学実習を含む）	海洋生命科学実験Ⅰ 海洋生命科学実験Ⅱ 海洋実習	3 3 1		3 3 1		
	③地域環境資源調査に係る実習・演習						
	④自然環境保全活動に係る実習・演習						
	⑤生態学実習・演習						
	⑥プレゼンテーション・コーディネート能力育成に係る実習						
講義分野	①自然再生・自然環境概論	海洋生命科学概論 環境科学 生物海洋学 水圏生態学	2 2 2 2	2		2	
	②自然再生・自然環境保全に係る計画（設計）学						
	③自然再生・自然環境保全に係る施工計画・施工学						
	④自然再生・自然環境保全に係る維持管理計画・管理学						
	⑤植物（草本類、木本類、水生植物等）分類・生態・生理学	水圏植物学	2		2		
	⑥動物（哺乳類、は虫類、両生類、昆虫、鳥類、魚類等）分類・生態・生理学	魚類学 無脊椎動物学 解剖生理学 水族生理学	2 2 2 2	2	2 2 2 2		
	⑦環境リスクマネジメント学						
	⑧環境経済学						
	⑨環境社会学						
	⑩地域環境学・地域生態論						
	⑪環境関連法規	技術者倫理	1			1	

【2020年度以前入学者用】

分野	指定分野	科目名	単位数	1年次	2年次	3年次	4年次
実験・実習分野	①自然環境調査と分析、評価に係る実習・演習						
	②動・植物同定調査に係る実習・演習（森林動物学実習、森林昆虫学実習を含む）	海洋生命科学実験Ⅰ 海洋生命科学実験Ⅱ 海洋実習	3 3 1		3 3 1		
	③地域環境資源調査に係る実習・演習						
	④自然環境保全活動に係る実習・演習						
	⑤生態学実習・演習						
	⑥プレゼンテーション・コーディネート能力育成に係る実習						
講義分野	①自然再生・自然環境概論	海洋生命科学概論 環境科学 生物海洋学 水圏生態学	2 2 2 2	2	2	2	
	②自然再生・自然環境保全に係る計画（設計）学						
	③自然再生・自然環境保全に係る施工計画・施工学						
	④自然再生・自然環境保全に係る維持管理計画・管理学						
	⑤植物（草本類、木本類、水生植物等）分類・生態・生理学	海洋基礎生産学	2		2		
	⑥動物（哺乳類、は虫類、両生類、昆虫、鳥類、魚類等）分類・生態・生理学	魚類学 無脊椎動物学 解剖生理学 水族生理学	2 2 2 2	2	2 2 2 2		
	⑦環境リスクマネジメント学						
	⑧環境経済学						
	⑨環境社会学						
	⑩地域環境学・地域生態論						
	⑪環境関連法規	技術者倫理	1			1	

【自然再生士補とは】

自然再生士補とは、自然再生に必要な基礎知識を有する自然再生の推進者で、「自然再生士」が実行する自然再生業務や活動を補佐する能力が求められます。

自然再生士補としての認定・登録を受けると、上位資格である自然再生士の受験資格として定められる実務年数が1年（通常3年）に短縮されることに加え、受験料の優遇を受けることができます（審査料の一部免除）。